

第46回(2023年度)全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会【戦評】

会場：千葉県国際総合水泳場

【2024/3/30】

この試合のプレー集計

A3位

豊中水球クラブ 3

0	—	1
1	—	0
0	—	0
2	—	0

1 富山スイミングパ
レス

PSO

高橋 大

審判:

松本 千葉津

豊中水球クラブ	15	SH数	15	富山スイミングパレス
	4	速攻数	0	
	5	ST・SB	7	
	3	SH・P誘発アシスト	4	
	90%	GK阻止率	70%	
	5	EX反則数	6	

ST・SB:ボール奪取・SH阻止

この試合までのチーム集計	Shoot	得点	P・EX	誘発PE	Sアシスト	Steal	速攻	コントラ	失点	GK阻止率
豊中水球クラブ	71	31	23	24	18	46	15	22	17	60.5%

(7試合計)

この試合までのチーム集計	Shoot	得点	P・EX	誘発PE	Sアシスト	Steal	速攻	コントラ	失点	GK阻止率
富山スイミングパレス	68	23	18	14	13	44	11	8	18	55.0%

(7試合計)

【試合の流れ】

両チームともに堅守で勝ち上がり、決勝進出にあと一步といところでの3位決定戦。特に豊中水球クラブは優勝候補筆頭の千葉水球クラブに予選リーグで完勝しただけに、準決勝での原田学園SSに競り負けた悔しさを爆発したいところ。対する富山スイミングパレスは予選リーグで原田学園SSに大差負け。今体で両チームともに原田学園SSとの対戦を経てきたわけで、その時の状況から見れば豊中水球クラブがやや優勢で試合が展開されることが予想されるが、富山はどこまで守って僅差の試合に持ち込めるか。

【1P】

豊中のセンター②仁木に対して富山はやや下がり気味のディフェンスで対応するが、それでも②仁木はペナルティを誘発。そこでPシュートを打つが、富山GK①谷内がセーブ。その後も豊中優勢で試合が進んだが、豊中のシュートを次々に留めた富山GK①谷内が光っていた。そのGKに 대응するように、富山センター⑨野口から⑩山下へパスアウト。そこでゴール前に攻め込んでペナルティを誘発。このペナルティを②黄地が決めて富山が先制。そのまま第1ピリオド終了(豊中0-1富山)。富山GK①谷内が豊中のシュート4本を止めたのがポイントだった。

【2P】

最初のチャンスは富山。ドライブ攻撃で⑩山下が退水を誘発して⑤清水がシュートするも豊中②仁木がブロック。その後、双方にチャンスらしい状況に至らなかったが、豊中⑥小野がボールスチールからチャンスをつかみ、②仁木が上手につないで⑧大塚が左サイドから泳ぎ込んでシュートを決めて同点に。豊中はプレスと下がりDFとをうまく使い分けて、富山に攻め込む状況を与えない。そこからの攻撃も素早いものがあるが、シュートにまではなかなか届かず、豊中が試合ペースを握りつつも同点で前半を折り返した(豊中1-1富山)。

【3P】

豊中が素早い展開で攻撃するがパスが繋がらない。対する富山は退水を誘発して、勝負のタイムアウトで攻勢をかけるも失敗。さらに再び退水攻撃となった場面もシュートを豊中GK①白石にブロックされるなど、両チームともに無得点で、1-1のまま勝負は最終ピリオドへ。こうした展開は富山にとっては理想に近い状況なだけに、最終ピリオドでの富山の出方が注目される。

【4P】

案の定、勝負に出る富山がセンターボールをこの試合初めて奪取。その流れで②黄地がシュートするが豊中GK①白石がセーブ。勝負の場面はピリオド中盤に、富山のシュートをまたもや豊中GK①白石がブロックしてから豊中がアーリーオフェンスへ。ここで②二木がペナルティを誘発し、そこを⑧大塚が決めて豊中2-1富山(2:24)。富山は懸命に攻撃し、カウンター攻撃でゴール前にボールを運ぶも豊中GK①白石が飛びだしてシュートにまで至らず、逆に豊中②仁木がゴール前に持ち込んでペナルティを誘発(シュートは⑥小野)。この時点で豊中3-1富山で残り時間は1分。豊中は最後の攻撃時間を有効に使って勝利した(豊中3-1富山)。